

全木連時報

10月25日(火曜日)
(第643号) (毎月25日発行)
平成23年(2011年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580) 3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

[全木連時報]の購読料は年会費に含まれています。



第46回全国木材産業振興大会開催

新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興

～森のめぐみを活かす大震災復興～

盛岡市に全国から参集

全木連と全木協連が主催する第四十六回全国木材産業振興大会は、「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興～森のめぐみを活かす大震災復興～」をメインテーマに掲げ、また、全国木材協同組合連合会創立五十周年記念大会として、十月十九日に盛岡市の「ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング」で開催された。大会には、皆川芳嗣林野庁長官、達増拓也岩手県知事、谷藤裕明盛岡市長はじめ多数の来賓の出席があった。大会担当は全木連東北支部。開催地担当は岩手県木材産業協同組合。第一部の大会議事では、別掲の大会宣言を満場一致で決議した。第二部の表彰式では、退任団体長表彰、協同組合事業功績者表彰、木材産業功労者表彰、が行われた。この後、懇親会に移り、盛況のうちに閉幕した。

第一部の大会議事は、国歌斉唱のあと、齋藤涉青森県木材協同組合理事長の開会のことばがあり、黙とうに続いて、小野田富男岩手県木材産業協同組合理事長の歓迎挨拶があり、今大会の開催に至った経緯が述べられた。次に、並木瑛夫全木連会長による大会会長挨拶があった。

次に、来賓祝辞があり、農林水産大臣(代理) 皆川芳嗣林野庁長官、国土交通大臣(代理) 加古貴一郎住宅局木造住宅振興室長、岩手県知事、盛岡市長(代理) 田口善政農林部次長) から祝辞があった。なお、盛岡市長は懇親会に出席されスピーチをいただいた。次いで、来賓の紹介があった。

次いで、大会宣言の決議にあたり、大粒来仁孝岩手県木材産業協同組合会長より現地基調報告があり、菊地成一秋田県木材産業協同組合連合会理事長が宣言を朗読し、満場一致で決議した。これを受けて、並木全木連会長が決意表明を行った。

第二部の表彰式は、吉条良明全国木材協同組合連合会会長の挨拶

があり、次に皆川芳嗣林野庁長官から祝辞があった。各表彰がとどこおりなく進み、終了のあと、受賞者を代表して小野田富男岩手県木材産業協同組合理事長から謝辞が述べられた。

目次

- 一面 第四十六回全国木材産業振興大会を盛岡市で開催 大会宣言を決議し早期実現を図る 大会会長挨拶
- 二面 振興大会栄えの受賞者
- 三面 景況調査
- 四面

ご挨拶

大会会長

社団法人 **全国木材組合連合会**
会 長 並 木 瑛 夫

全国木材産業振興大会の開催に当たりご挨拶を申し上げます。

できますことは大きな喜びであり光栄であります。また、ご多用の

本日、第四十六回全国木材産業振興大会を、ここ盛岡市において

なか、農林水産大臣、国土交通大臣、林野庁長官、岩手県知事、岩

地元岩手県木材産業協同組合ほか全木連東北支部関係者の皆様方のご尽力により、かくも盛大に開催

多くの来賓のご臨席を賜り心から御礼申し上げますとともに、全

全国各地からご参集いただいた多くの会員、友好団体の皆様にご感謝申し上げます。

未曾有の大災害の東日本大震災・原子力発電所事故による被災地域、被災者の方々には心からのお見舞いを申し上げます。ご来賓の岩手県知事ほか国、被災県・市町村、多くの人々など、まさに国を挙げての復旧・復興の取組みが進められており、その早期実現を強くお願いいたします。

岩手県は、豊かな自然環境、地域資源、歴史・文化に恵まれており、これらを最大限に活かした魅力あふれる地域づくりが進められています。傑出した歌人・文学者の石川啄木、宮沢賢治を育んだ地として知られ、そしてこの6月には「平泉」が世界遺産に登録されています。このような「みちのく」岩手とのふれ合いを求めて多くの人が訪れています。林業・木材

第四十六回全国木材産業振興大会

宣言決議

一 東日本大震災の復旧・復興のため、木材の需給安定と地域の木材を活かした支援対策の充実に取り組もう

一 住生活空間、公共建築物、商業施設などへの木材・国産材利用の大幅拡大、木質バイオマス利用の促進に取り組もう

一 木材産業の活性化のため、経

産業につきましては、豊富な森林資源を背景に先進的な事業活動が行われ、全国から大きな関心が寄せられています。本年の大会は、昨年から盛岡市での開催が決定されていきました。しかし、三月の大震災を考慮するとこの地での大会開催は避けられた方がよいのではない

かと思ひ悩んだのも事実でありました。しかし、東北支部ほか会員と協議を重ね、大震災地域及び被災木材関係者の復旧・復興の早期実現の強い思いを込めて、本日もこの次第であります。ご参集いただいた皆様方と一致して、被災地域及び被災木材産業の復旧・復興の支援対策や木材利用促進、業界の振興方策・展望などを確認し合い、それらを広く訴えていく意義深い大会にいたしたいと思ひます。皆様方のご理解・ご協力を強くお願いいたします。

さて、このところの我が国の経済は、東日本大震災の影響、急激な円高等により景気低迷・減速が懸念されています。東日本大震災の本格的な復旧・復興等のための第三次補正予算の早期の実現・実行に加え、更なる経済対策の実現を強く要請するものであります。また、木材産業の動向は、三段構えの経済対策効果により住宅着工、木材需要の増加が期待されてい

一 安全・安心のJAS製品、合法木材・木製品、乾燥材などの供給体制の整備や林業・木材産業の担い手の育成確保に取り組もう

一 再生可能な「木材」の利用推進のための税制度・エコポイント制度などの拡充・導入に取り組もう

一 木材産業の活性化のため、経

取り組んできました。国は、十年後の木材自給率五十%達成を目標として森林・林業再生プランを決定しその実現のために、木材業界が永年切望してきた公共建築物等木材利用促進法制度の創設、森林法の改正や住生活基本法に対応した「木のまち・木のいえ」整備対策推進などの施策展開を進め、そして地方公共団体においても地域木材利用振興対策など積極的に推進してまいります。こうしたことや多くの木材関係者のご努力により、人々の木材・国産材利用の理解促進は着実に進展しつづけていると思ひます。関係機関のご尽力に感謝申し上げます。これら制度等の定着推進や充実強化に一層のご支援・ご指導をお願い申し上げます。ご指導・ご支援の程を切にお願いいたします。

本大会は「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的復興」そして「森林（もり）のめぐみを活かす大震災復興」をスローガンとしてい

一 安全・安心のJAS製品、合法木材・木製品、乾燥材などの供給体制の整備や林業・木材産業の担い手の育成確保に取り組もう

一 再生可能な「木材」の利用推進のための税制度・エコポイント制度などの拡充・導入に取り組もう

一 木材産業の活性化のため、経

野、用途に飛躍的に拡大できるよ

木材業界は、このような取組みに挑戦していくことにより、木材の需給拡大、木材産業の復興の展望が切り拓かれるものと確信いたします。ご列席の関係行政機関、関係団体の皆様方には、今後ともご指導、ご支援の程を切にお願い申し上げます。

最後に、本日、栄えある表彰を受賞される皆様に対し、長年のご精進とご労苦に深甚なる敬意を表し心からのお祝いを申し上げます。ともに、本大会の開催に当たりご支援、ご協力いただいた岩手県木材産業協同組合をはじめ東北地域の各県木連、関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

一 木材産業の活性化のため、経



兵福富東京東京宮全全全熊德兵福富宮全
庫井山(原)東(材)城全木
野岡山市多高橋全木
村本田川英邦義協
昌伸幸治彦宣會
弘三志治彦宣會

全全全熊德兵福富宮全
天銘本島庫井山城
連連連本島庫井山高
竹志大山野岡山橋
内賀石田村本伸義
福忠駿喜三昌幸義
治司四郎三郎伸志宣

前大会以降退任団体長表彰

第46回全国木材産業振興大会
栄えの受賞者(敬称略)

全国木材協同組合連合会
創立50周年記念表彰

群栃栃茨福山秋全
馬木木城島形田全
新栃小高金杉近全
井木堀井澤原藤中
幸孝純正榮樹悟久
男夫正榮樹悟久

鹿熊愛兵大大岐福富東東京東
児本媛庫坂坂阜井山(材)東(材)東
島永向庫上坂阜井山(材)東(材)東
田中山井田本橋雪板前松中森阿後
信芳一棟健政頭田井木林部藤好
一弘男郎介通学志司均介彦基

農林水産大臣感謝状
岩手 小野田 富男
奈良 吉野製材工業協同組合
林野庁長官感謝状
北海道 後藤好基

熊島 山田喜三郎
大石 駿四郎

林野庁長官感謝状
宮城 小泉 勝二
秋田 庄 憲
栃木 二ノ宮 英寿

木材産業功労者表彰

大大熊長高愛愛徳徳広広岡岡島兵滋三愛愛静静長長長富東東京東東京東
分分本崎知媛媛島島島島山山根庫賀重知岡岡野野野山伊山青馬高
岩齋坂大濱三白石三中原野下本野本竹水上橋口本八保稲鈴荒坂山米伊山青馬高
田藤田宅田好石原野邦真淳一郎士龍一啓徹久雄輝好司雄夫樹一夫勝之護
清育鉄太郎昭市隆兄志雄二 龍一 昇 徹 久 雄 輝 好 司 雄 夫 樹 一 夫 勝 之 護

富新東東東東千千埼群群栃茨福山秋秋秋岩岩北海北海全全宮熊高愛愛広岡大愛岐石東千群
山潟京京京京葉葉玉馬馬木城島形田田田手手海道道道全木連會會長表彰狀益持森川菊和杉中水林折網藤田
藪山塚出橋木瀬野塚崎江敷子田瀬部辺藤内木東部澤子永崎井地泉本村谷隆啓賢欽
眞佐哲隆武俊伸喜義利公仁嘉光宏亨悟弘 一

宮大長愛愛香徳山広広広岡岡岡島和奈大大大大滋三三愛愛愛愛静静岐岐長長福石石石
崎分崎媛媛川島口島島島山山根山良阪阪阪賀重重知知知知岡岡阜阜野野井井川川川
歌

外岩古井小吉平森住小中大大小小中加筒春前佐松高森大早池江羽川杉河田山武東辻広高
山田賀上倉田尾田田畑西石出務藤井増田藤山橋本塚川野口谷合浦尻口口居角 瀬 津
正好易 雅 勝俊智英 一光友源 基原能文孝勇恒正達米章 和 益 正 利 芳 秀
志喜之剛曉典勝久和嗣二丞博海世太勝安二久夫平一男美郎三平仁憲勝夫芳悟陽則樹

景況調査=全木協

23年9月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数85 回答数52 回収率61%

当月の状況

| | | | |
|------|------------|--------------|-----------|
| 販売量 | 増加33% (17) | 変わらず55% (28) | 減少12% (6) |
| 仕入量 | 増加25% (13) | 変わらず63% (33) | 減少12% (6) |
| 販売価格 | 上昇13% (7) | 変わらず77% (40) | 下降10% (5) |
| 仕入価格 | 上昇17% (9) | 変わらず68% (35) | 下降15% (8) |

来月の見通し

| | | | |
|------|------------|--------------|-----------|
| 販売量 | 増加33% (17) | 変わらず55% (29) | 減少12% (6) |
| 仕入量 | 増加23% (12) | 変わらず64% (33) | 減少13% (7) |
| 販売価格 | 上昇6% (3) | 変わらず84% (44) | 下降10% (5) |
| 仕入価格 | 上昇12% (6) | 変わらず80% (42) | 下降8% (4) |

| | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 3か月後相場予想 | 強含み | 保ち合い | 弱含み |
| 米材 | 17% (7) | 71% (30) | 12% (5) |
| 南洋材 | 22% (8) | 73% (27) | 5% (2) |
| 北洋材 | 20% (8) | 72% (29) | 8% (3) |
| 国産材 | 19% (9) | 68% (32) | 13% (6) |
| 建材 | 13% (5) | 72% (29) | 15% (6) |

| | | | |
|----------|---------------|------------------|--------------|
| 乾燥材取引の頻度 | 増加 13% (6) | 変わらず 83% (38) | 減少 4% (2) |
|----------|---------------|------------------|--------------|

〔製造部門〕

モニター数108 回答数61 回収率56%

当月の状況

| | | | |
|------|------------|--------------|-----------|
| 販売量 | 増加44% (26) | 変わらず44% (26) | 減少12% (7) |
| 仕入量 | 増加35% (21) | 変わらず55% (33) | 減少10% (6) |
| 販売価格 | 上昇2% (1) | 変わらず88% (53) | 下降10% (6) |
| 仕入価格 | 上昇28% (17) | 変わらず65% (39) | 下降7% (4) |

来月の見通し

| | | | |
|------|------------|--------------|-----------|
| 販売量 | 増加30% (18) | 変わらず58% (35) | 減少12% (7) |
| 仕入量 | 増加35% (21) | 変わらず50% (30) | 減少15% (9) |
| 販売価格 | 上昇8% (5) | 変わらず85% (51) | 下降7% (4) |
| 仕入価格 | 上昇22% (13) | 変わらず75% (45) | 下降3% (2) |

| | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 3か月後相場予想 | 強含み | 保ち合い | 弱含み |
| 米材 | 30% (8) | 55% (15) | 15% (4) |
| 南洋材 | 38% (8) | 48% (10) | 14% (3) |
| 北洋材 | 33% (7) | 43% (9) | 24% (5) |
| 国産材 | 23% (12) | 60% (31) | 17% (9) |

プレカットの動向

| | | | |
|---------------|------------------|----------------|-----------------|
| 受注後、加工までの待ち時間 | 1ヵ月以内 55% (6) | 1ヵ月 36% (4) | 1ヵ月以上 9% (1) |
|---------------|------------------|----------------|-----------------|

■ 木材業景況調査結果(23年9月分)

九月は、販売量、仕入量については、流通・製造部門とも前月より増加した。また、販売価格については、流通・製造部門とも変わらなかったが、仕入価格については、流通部門では変わらず、製造部門では上昇した。

十月は、販売量、仕入量については、流通・製造部門とも前月より増加の見通しである。また、販売価格、仕入価格については、流通・製造部門とも変わらないの見通しである。

三ヵ月後の相場予想については、米材、南洋材は、流通部門では保ち合い予想であるが、製造部門では強含み予想である。北洋材、国産材は、流通・製造部門とも保ち合い予想である。また、建材は保ち合い予想である。

流通部門における「乾燥材取引の頻度」については、乾燥材の一定の取引は定着していると思われる。プレカット工場の操業状況は回

概評に
追加のコメント

復傾向にある。

当月の結果の判断はむずかしいところ。

調査結果は、九月の需要期を背景に十月に向けても、全体としては堅調な推移であるが、地域、業種によりバラツキがあるためか、実感と違うとのコメントも委員の間ではあった。

また、価格については、先高観は薄れている。

在庫など、今後の展開がポイントか。

『東日本大震災復旧緊急保証』
の受付が始まりました。

この度の東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が受けられます。

- ◎ 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
 - ◎ 主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために必要な運転資金
 - ◎ 震災復興に係る仮設住宅など資材供給の円滑化のために必要な運転資金・設備資金
- 詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: <http://www.affcf.com>

